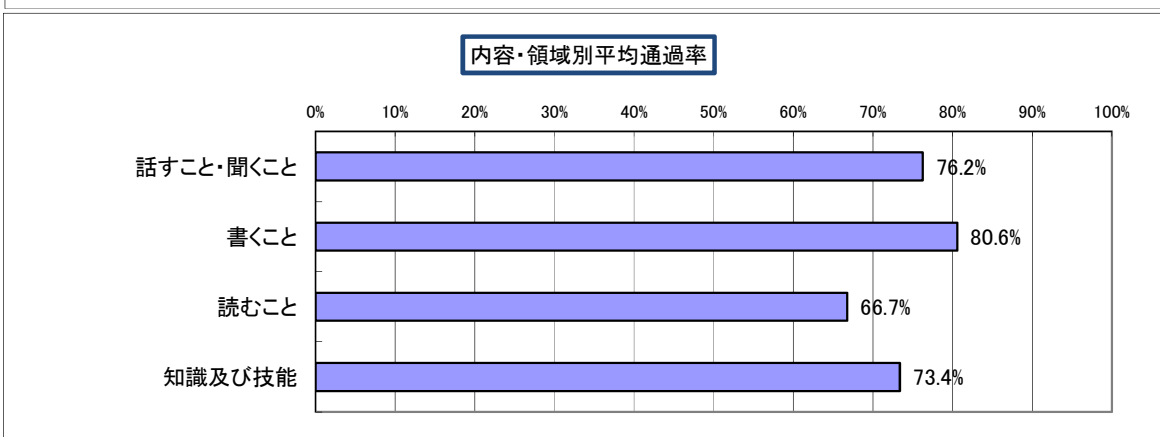
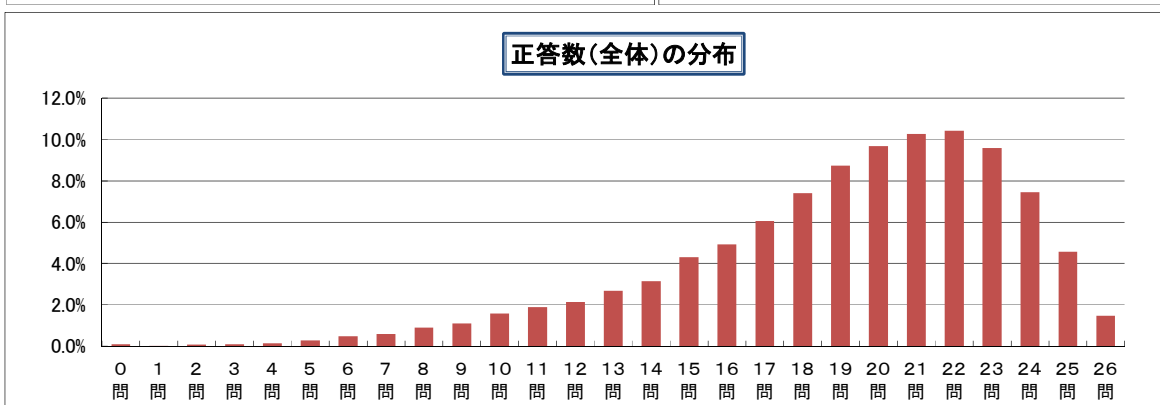
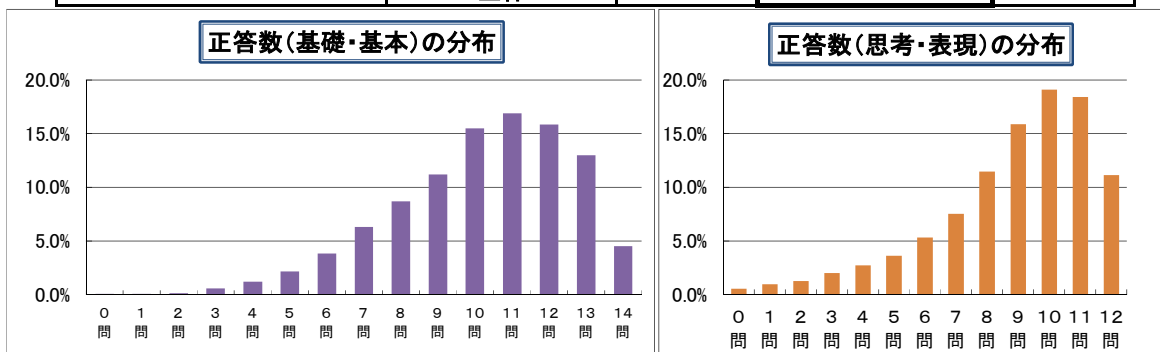


(1) 中1平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率	基礎・基本	小5	中1	中2
	思考・表現	74.0%	73.4%	77.8%
	全体	69.5%	73.8%	76.7%
		72.3%	73.6%	77.3%



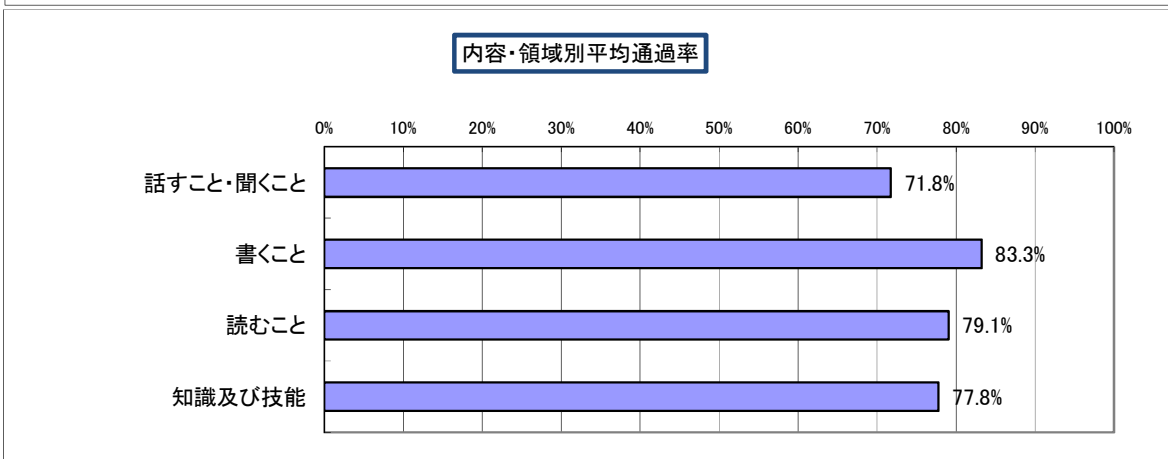
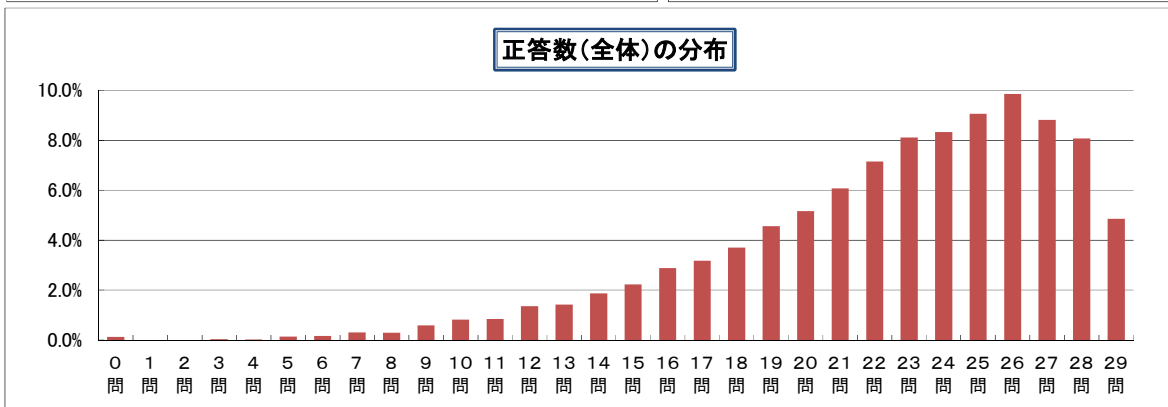
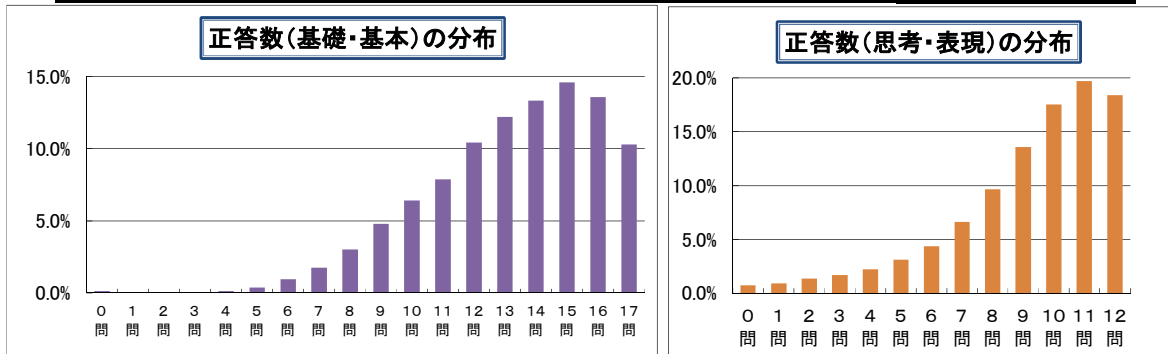
- 「読むこと」以外の領域においては、目標通過率の7割を超えた。無答率も昨年度より低くなっており、生徒の粘り強く取り組む姿が見られる。
- 「読むこと」の領域では、説明文の読解を中心に出题したが、大問3の一、抜けている段落の内容を、文章全体から考えて適切な位置に入れる設問や、大問3の五文章の内容を読解し、適切な短い文で抜き出す設問に課題が見られた。文章全体の構成を考える指導や内容を要約する指導が必要である。
- 「知識及び技能」では、大問1の二で問われている漢字と同じ漢字を使っている熟語を答える設問が、全設問の中で正答率が一番低かった。漢字学習においては、学習すべき漢字だけではなく熟語や関連する漢字等、一つの文字から幅広く学習していく必要がある。

(2) 中1各設問の分類と平均通過率
国語(中学校第1学年)

設問	大問	中間	小問	出題学年	問題内容別				内容領域別			県平均通過率			校内通過率			出題の意図		
					基礎・基本	思考・表現	話す・聴くこと	書くこと	読むこと	知識及び技能	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率				
1	1		1	小6	○					○	97.6%		0.1%	0.0%		0.0%	小学校学習漢字(音)を正しく読むことができるか。			
2			2	小6	○					○	88.9%		1.2%	0.0%		0.0%	小学校学習漢字(訓)を正しく読むことができるか。			
3			3	小3 小5	○						○	59.6%		2.3%	0.0%		0.0%	小学校学習漢字を正しく書くことができるか。		
4			二	小2	○						○	28.8%		0.1%	0.0%		0.0%	文意や熟語の意味から正しい漢字を判断することができるか。		
5			三	小6	○						○	64.6%		4.0%	0.0%		0.0%	漢字の部首名を正しく答えることができるか。		
6			四	中1	○						○	80.0%		0.1%	0.0%		0.0%	文節を理解し、適切に区切ることができるか。		
7			五	小4	○						○	80.3%		0.1%	0.0%		0.0%	例文からことわざの意味を考え、似た意味の言葉を選ぶことができるか。		
8			六	中1	○						○	69.5%		0.2%	0.0%		0.0%	表現技法について理解しているか。		
9			七	小4	○						○	72.6%		0.1%	0.0%		0.0%	例文から故事成語の意味を捉え、正しい意味を判断することができるか。		
10			八	小4	○						○	90.6%		0.1%	0.0%		0.0%	例文から慣用句の意味を考え、似た意味の慣用句を選ぶことができるか。		
11	2		一	中1	○					○	76.6%		3.8%	0.0%		0.0%	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができるか。			
12			二	中1	○					○	66.1%		0.1%	0.0%		0.0%	古文の文脈を適切に捉え、古語の意味を理解することができるか。			
13			三	中1	○						○	80.6%		0.1%	0.0%		0.0%	文脈に即して、古語の意味を捉えることができるか。		
14	3		一	中1		○						44.2%	1.3%		0.0%	0.0%	段落の役割などを意識して、文章の構成を捉えることができるか。			
15			二	小5 小6	○						○	70.9%		0.3%	0.0%		0.0%	主語と述語との関係について、理解することができるか。		
16			三	中1		○					○	75.4%		0.3%		0.0%	0.0%	文の前後の関係を正しく捉え、叙述に即して内容を理解することができるか。		
17			四	小5 小6		○					○	90.5%		0.4%		0.0%	0.0%	文章と図表を結び付けて内容を理解することができるか。		
18			五	中1		○					○	56.9%		7.9%		0.0%	0.0%	文章の要旨を捉え、筆者の考えを捉えることができるか。		
19			六	①	中1		○				○	89.1%		4.5%		0.0%	0.0%	文章の要旨を捉え、筆者の考えに対して自分の考えをもつことができるか。		
20				②	中1		○				○	72.1%		5.4%		0.0%	0.0%			
21	4		一	中1		○	○				80.0%		5.7%		0.0%	0.0%	目的や意図に応じて、題材を整理することができるか。			
22			二	中1		○	○				70.0%		0.6%		0.0%	0.0%	目的や場面に応じて伝え合う内容を検討することができるか。			
23			三	中1		○	○				79.3%		0.9%		0.0%	0.0%	相手の反応を踏まえながら、表現を工夫することができるか。			
24			四	中1		○	○				67.3%		4.5%		0.0%	0.0%	必要に応じて記録し、話の内容を捉えることができるか。			
25			五	①	中1		○	○				92.3%		6.0%		0.0%	0.0%	話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるか。		
26	②	中1			○	○				68.5%		6.6%		0.0%	0.0%					
計				問題数	14	12	6	2	4	14	73.4%			0.0%			0.0%			
				出題割合	53.8%	46.2%	23.1%	7.7%	15.4%	53.8%										
												73.6%			0.0%					

(3) 中2平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率	基礎・基本	小5	中1	中2
	思考・表現	74.0%	73.4%	77.8%
	全体	69.5%	73.8%	76.7%
		72.3%	73.6%	77.3%



- 全ての内容・領域において平均通過率は7割を超えた。また、無解答率の割合も昨年度より減少した。四領域の中では「話すこと・聞くこと」にやや課題が見られた。
- 「知識及び技能」では、形容詞の活用形を問う設問の正答率が低かった。例年通過率が低い内容であるが、今年度は、出題の形式を、なぜその活用形になるのか、考え方のプロセスを文章化した問いに変更した。これらの考え方のプロセスをしっかりと指導していく必要がある。
- 大問3の五、適切な接続語を選ぶ設問や説明文の読解の大問3の六、複数の資料を関係付けて答える設問の通過率が低かった。複数の情報を関係付けて考える設問を授業の中に位置付けていく必要がある。

(4) 中2各設問の分類と平均通過率

国語(中学校第2学年)

大問	設問			問題内容別		内容領域別					県平均通過率			校内通過率			出題の意図
	大問	中問	小問	出題学年	基礎・基本	思考・表現	話すことと書くこと	読むこと	語句	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率		
																基礎・基本	
1		1	小6	○					○	99.8%		0.0%	0.0%		0.0%	小学校学習漢字(訓)を正しく読むことができるか。	
2		2	小6 小5	○					○	99.0%		0.1%	0.0%		0.0%	小学校学習漢字(音)を正しく読むことができるか。	
3		3	小6	○					○	56.1%		8.8%	0.0%		0.0%	小学校学習漢字を正しく書くことができるか。	
4		4	小4 小5	○					○	67.3%		2.2%	0.0%		0.0%	小学校学習漢字を正しく書くことができるか。	
5	1	1	中2	○					○	59.3%		0.4%	0.0%		0.0%	形容詞の活用形を理解しているか。	
6		2	小5 中2	○					○	79.5%		0.2%	0.0%		0.0%	敬語の種類を理解して、書くことができるか。	
7		三	小4 中2	○					○	84.8%		0.2%	0.0%		0.0%	熟語の構成を理解しているか。	
8		1	小4	○					○	87.8%		0.2%	0.0%		0.0%	慣用句を理解しているか。	
9		2	小4 中1	○					○	76.0%		0.5%	0.0%		0.0%	ことわざと故事成語を理解しているか。	
10		五	小6 中1	○					○	62.0%		9.0%	0.0%		0.0%	漢字の部首名を正しく答えることができるか。	
11	六	中1	○					○	83.3%		0.5%	0.0%		0.0%	行書の特徴を理解しているか。		
12	2	一	中1	○					○	93.5%		0.1%	0.0%		0.0%	古語の意味を理解しているか。	
13		二	中2	○					○	93.3%		0.6%	0.0%		0.0%	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができるか。	
14		三	中2	○					○	69.9%		1.6%	0.0%		0.0%	言葉の意味を考え、内容を解釈することができるか。	
15		四	中2	○					○	75.7%		0.4%	0.0%		0.0%	古文を読んで、文意を捉えることができるか。	
16	3	I	中2	○				○		88.0%	3.8%		0.0%	0.0%	文章の内容を正しく捉えることができるか。		
17		II	中2	○				○		90.5%	4.5%		0.0%	0.0%	文章の内容を正しく捉えることができるか。		
18		二	中2	○				○		86.6%	0.4%		0.0%	0.0%	文章の内容を正しく捉えることができるか。		
19		三	中2	○				○		67.2%	0.7%		0.0%	0.0%	文章の表現の工夫を捉えることができるか。		
20		四	中1	○				○		70.0%		1.7%	0.0%		0.0%	品詞について理解できているか。	
21		五	中1	○				○		65.1%		0.6%	0.0%		0.0%	文意を捉えて、適切な接続後を選ぶことができるか。	
22		六	中2	○				○		62.9%	2.6%		0.0%	0.0%	文章と資料とを結び付けて、その関係を踏まえて、内容を解釈することができるか。		
23	七	①	中2	○			○			87.2%	5.6%		0.0%	0.0%	文章を読んで理解したことや考えたことを、知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるか。(観点①)		
24		②	中2	○			○			79.3%	5.8%		0.0%	0.0%	文章を読んで理解したことや考えたことを、知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるか。(観点②)		
25	4	一	小5・6	○	○					92.1%	0.7%		0.0%	0.0%	互いの立場や意図を明確にしながらいずれかに話しかけることができるか。		
26		二	中2	○	○					74.7%	0.8%		0.0%	0.0%	論理の展開を捉えながら注意して聞くことができるか。		
27		①	中1	○	○					75.8%	2.1%		0.0%	0.0%	資料を用いて自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるか。		
28		②①	中1	○	○					72.3%	8.4%		0.0%	0.0%	根拠の適切さを考え、自分の考えをまとめることができるか。(観点①)		
29		②②	中1	○	○					43.8%	9.0%		0.0%	0.0%	根拠の適切さを考え、自分の考えをまとめることができるか。(観点②)		
計				問題数	17	12	5	2	5	17							
				出題割合	58.6%	41.4%	17.2%	6.9%	17.2%	58.6%	77.8%	76.7%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
										77.3%			0.0%				

(5) 国語（授業改善の視点）

ア 出題について

- ・ 基礎・基本，思考・表現の設問の数は，ほぼ例年どおりで出題。
- ・ 説明文を中心としながら，「書くこと」もしくは「話すこと・聞くこと」と関連させた複合的な問題を，授業展開を意識して出題。
- ・ 複数の情報を関係付けて答える設問を出題。
- ・ 「構成」を問うような設問を出題。
- ・ 文章中の言葉（叙述）を根拠として取り上げ，自分の考えを説明する設問を出題。
- ・ リーディングスキルテストは単独で扱わず，大問の中で出題。（中2大問③の二など）

イ 特徴ある問題から

中2：④の三の2の②

指導事項：【話すこと・聞くことエ】

根拠の適切さを考え，自分の考えをまとめることができるか。（観点②）

通過率：43.8%

調査の結果から，自分の意見の根拠を文章から抜き出し，根拠を明確にして書くことに課題があることが分かった。

昨年度は，物語文において，場面の雰囲気に関する自分の意見を，描写（叙述）から抜き出して答える問題を出題し，その通過率は70.1%であった。今回は昨年度よりも通過率が低くなっている。

文種は異なるが，自分の意見を，根拠を明確にして（根拠となる叙述を取り上げて）答えることに課題があり，なおかつ継続していることが分かる。

中2：①の二の1

指導事項：【話すこと・聞くことエ】

形容詞の活用形をについて理解しているか。

通過率：59.3%

「話し合い」の流れを踏まえて，どのような紹介カードが良いか，カードに書かれている文を根拠として取り上げて，自分の意見を書く問題。

2 次は，本田さんが準備していた「おすすめ本の紹介カード」A、Bである。これらを読んだ上で，【おすすめ本の紹介カード】についての話し合いの流れに沿って，本田さんの□にふさわしい発言を次の条件に従って書け。

条件1 AかBのどちらを選ぶかを一文目に書くこと。

条件2 二文目以降には，なぜそれを選んだのか，選んだ理由が分かるように，「おすすめ本の紹介カード」の中から表現を抜き出して「」で示しながら書くこと。

ウ 授業改善のポイント

- 自分の意見の根拠を叙述に求める指導を行う。（なぜそう考えるの，その考えは，どこの文章からそう思うの。）
- 自分の意見とその根拠となる文章中の叙述（文章中の言葉）を明確にして，書かせたり発言させたりする活動を行う。（板書やワークシートにも根拠となる叙述と自分の意見を区別して書かせるようにする。）
- 文法の学習では，なぜその答えになるのかについて，考え方のプロセスを繰り返し指導する。